月刊　　第4号

長井ダム

10

2025

作　長井ダム愛好家の小学生

Pickup! 災害復旧工事のためのバルブ放流

2025年9月現在、長井ダムでは災害復旧工事(堆積土砂掘削工事)が行われ、ダムに堆積した土砂を掘削工事できるようにバルブ放流が行われています。

①災害復旧工事とは？

昨年度の災害により溜まった土砂を取り除く作業です。ダムの水位を下げた後に、重機を使って土砂を取り除きます。

②バルブ放流について

バルブとは、水道の蛇口のように水を止めたり、量を調節し、目的や用途に合わせ、放流するものです。

次に、バルブから放流した理由を教えます。

災害復旧工事を行うためには水位を低下させる必要があります。普段放流している発電の放流だけでは、水位が下がらないため、バルブ放流も兼ねて放流しているのです。

※水位が下がり次第、放流は終了となります。

撮影協力：長井ダム管理者様

Challenge! イベントに参加しよう!

10月26日に長井ダムのイベント「百秋湖まつり」があります。ぜひ参加してみましょう！

イベントの見どころ

見どころ①

ダムのエレベーターに乗り、ダム内部を歩いて下まで行きます。ダムを下から見上げると125.5mの大きさを実感できます。私も登場するかも？！

見どころ②

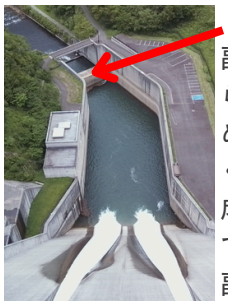
今年のダム湖面巡視は水位低下により中止ですが、ダムの巡視船に乗れるチャンスのお祭りです。来年のお祭りに乞うご期待！

知ってほしいダム用語

ちょいムズ編

副ダム

ふくダム



副ダムとは、ダムから放流された水を弱めるための池(詳しくは次回説明)を形成させる小さなダムです。

副ダムがないと、下流河川に被害がおよびます。

型式

けいしき

型式とはダムの形のことで、長井ダムはダムの自重(じじゅう)によって貯水池からの水圧を支える構造の重力式コンクリートダムです。

他の種類を紹介すると、たとえば、岩を積み上げて作るロックフィルダムや、ダムをアーチ状に作られたアーチ式コンクリートダムがあります。

ダムの型式の決め方は地盤の強さや地形で決まります。

【写真】

上：**アーチ式コンクリート**

川俣ダム(栃木県日光市)

中：**ロックフィル**

七ヶ宿ダム(宮城県七ヶ宿町)

下：**重力式コンクリート**(長井ダムと同じ)

荒沢ダム(山形県鶴岡市)

おすすめ！他のダム紹介　寒河江ダム

今回は、山形県西川町の「寒河江ダム」を紹介します。

寒河江ダムは、長井ダムと違い、白川ダムと同じのロックフィルダムです。

寒河江ダム貯水池「月山湖」には「月山湖大噴水」があり、その噴水の高さは112mで、その高さは日本一、東洋一、世界4位です。

ぜひ寒河江ダムにも行ってみて下さい。

詳しくは寒河江ダムで検索！